

2023 初秋 西神戸・東播磨の風物詩<<3>>

R0510Yokoomichiweb.pdf

【風来坊 2023】 【スライド動画】 【Photo Album】

六甲連山の西端 須磨沿岸に立ち並ぶ旗振り山・横尾山

記録：渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023 2023.10.3.

渡りの蝶「アサキマダラ」の飛来の確認 walk 横尾山山腹 横尾道の藤袴の花保護地で



須磨海岸に並び立つ西六甲西端「横尾山・鉄塊山・旗振り山」。初秋には藤袴の花が咲き、南西の島々へ渡る「アサギマダラ」の飛来地で 南の淡路島から四国への渡りと西へ瀬戸内沿岸を渡る分岐点。昨年旗振り山の藤袴の花の上で乱舞する「アサギマダラ」を見かけて、藤袴の花の中で乱舞する渡りの蝶の姿は西神戸初秋の風物詩」とうれしくなって、今年はどうかと……

お彼岸が過ぎて「藤袴」が咲く横尾山腹の横尾道 西神戸の海・街を眺めながらの心地よい散歩道 季節の移ろいを感じながらの渡りの蝶「アサキマダラ」の飛来の確認 walk。

10月3日 14時44分 うれしいアサキマダラの飛来を確認できました。



記録：渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023 2023.10.3.



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichi.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichiweb.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichiphoto.pdf>

【参考】「風来坊 2022」昨年 2022 年の記録:

[蝶の道 旗振り山から南西へ 淡路島・四国そして九州へ 旗振り山の頂上で!!](#)

[藤袴の花に群がり乱舞する蝶「アサギマダラ」の映像が 初めて撮れました](#)

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0411ButterflyRoadweb.pdf>

2023初秋 西神戸・東播磨の風物詩<<3>>

【風来坊2023】【スライド動画】【Photo Album】

**記録 :六甲連山の西端須磨沿岸に立ち並ぶ旗振り山・横尾山
渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023**



明石海峡に面する須磨海岸に並び立つ西六甲西端「須磨アルプス横尾山・鉄塊山・旗振り山」の藤袴の保護地があり、秋の七草「藤袴」の咲く初秋には南西の温かい島々へ渡るアサギマダラ」の飛来地
**南の淡路島から四国への渡りと
 西へ瀬戸内沿岸を渡る分岐点。**

昨年旗振り山の藤袴の花の上で乱舞する「アサギマダラ」を見かけて、この渡りの蝶の姿は夏から秋への「西神戸初秋の風物詩」うれしくなつて、今年はどうかと……



「風来坊2022」昨年2022年の記録:
[蝶の道 旗振り山から南西へ 淡路島・四国そして九州へ](https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0411ButerflyRoadweb.pdf)

アサギマダラの渡りの道 遠く種子島 台湾へ 藤袴の花に群がり乱舞する蝶「アサギマダラ」の映像が初めて撮れました それも旗振り山の頂上で!!
<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0411ButerflyRoadweb.pdf>

2023初秋 西神戸・東播磨の風物詩<<3>>

【風来坊2023】【スライド動画】【Photo Album】

**記録 :六甲連山の西端須磨沿岸に立ち並ぶ旗振り山・横尾山
渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023**

**西六甲の端 須磨横尾山山腹の散策路の藤袴保護地に
 飛来した渡りの蝶「アサギマダラ」 2023.10.3. 14:44**

今年は飛来が遅れたのか？ 渡りの蝶がすくないのか？
 中々飛来を確認できずでしたが、須磨横尾山山腹の散策路 藤袴保護地で藤袴の花の蜜を吸う渡りの蝶「アサギマダラ」を見つけました。
 天候・場所・時間を替えて、約一週間 今日やっと確認出来ました。うれしい一日に。





西六甲の端 須磨横尾山山腹の散策路の藤袴保護地に飛来した
渡りの蝶「アサギマダラ」 2023.10.3. 14:44



2023.10.3.藤袴の蜜を吸う渡りの蝶「アサギマダラ」
横尾山山腹 上の横尾道で
1週間程通って やっと飛来したアサギマダラに出逢えました

「旅するチョウ」飛び立つ前に



フシバカマの上を飛ぶアサギマダラ―神戸市灘区摩耶山町

神戸・摩耶山

「旅するチョウ」として知られるアサギマダラが神戸市灘区の摩耶山天上寺に飛来している。越冬に向けた長旅に備えるように、フシバカマの蜜を吸うのに夢中になっている。タテハチョウ科で羽を広げた大きさは約10センチ。羽の白い部分が光の加減によってあざき色（淡い青緑色）に見えることが名付けられた。夏は暑さを逃れるため高地の長野県などで過ごし、秋になると温暖な地域を目指して南へと旅立つ。同寺ではフシバカマの花が増えた約10年前から多数が飛来。今年9月末に急に増え始めた

大きさは約10センチ。羽の白い部分が光の加減によってあざき色（淡い青緑色）に見えることが名付けられた。夏は暑さを逃れるため高地の長野県などで過ごし、秋になると温暖な地域を

目指して南へと旅立つ。同寺ではフシバカマの花が増えた約10年前から多数が飛来。今年9月末に急に増え始めた

61・2684（菅原次郎）

須磨横尾山山腹で飛来した「アサギマダラ」を確認した翌日10月4日の神戸新聞朝刊にも六甲摩耶山に飛来乱舞する「アサギマダラ」の記事が出ました。六甲には数多く飛来している。今年六甲山系の飛来が少ないと聞きましたが、台風が少なく・酷暑が影響している。でも例年とは飛来が遅く、やっぱり地球温暖化の気象変化の影響が色濃く出ているのかも……



そんな目で見ると「石崖蝶・イシガケチョウ」というんだそうですが、あまり見たことない蝶が藤袴の花に数多くみられるようになりました。我が家の庭でも見かけたことのある蝶 Google Photoで調べると本州南部と四国、九州、沖縄に分布。分布は徐々に北上しており、島根県や岡山県、兵庫県などではすでに定着が確認、長野県・静岡でも確認されたという。



また、関東にいる仲間からは「アサギマダラ優雅ですよ！でも最近はアカボシゴマダラの方が多くなってしまいました」と。この蝶 関西では見られない蝶？ 東南アジアなどから持ち込まれ、関東で繁殖を始めた外来種の蝶だという。蝶の世界も色々あるようだ。兵庫県には日本一低い分水界 氷上回廊もあり、動植物の分布・繁殖域に大きな影響が色濃く出るところ。しらべると面白いだろうなあ……



「今日はアサギマダラの飛来があるか？」と横尾道から野路菊の丘へ登り
横尾山山腹の横尾道(上)の散策路を南へ藤袴の保護地を巡るwalk

秋晴れの澄んだ明石海峡・播磨灘 遠く浮かぶ小豆島・家島群島がくっきり
藤袴の蜜を吸うアサギマダラもさることながら、
「澄んだ播磨灘に浮かぶ小豆島・家島群島も秋ならではの
美しい遠望で毎Walkを楽しんでくれました。

2023.10月 快晴の横尾道



バス道から見上げる横尾山



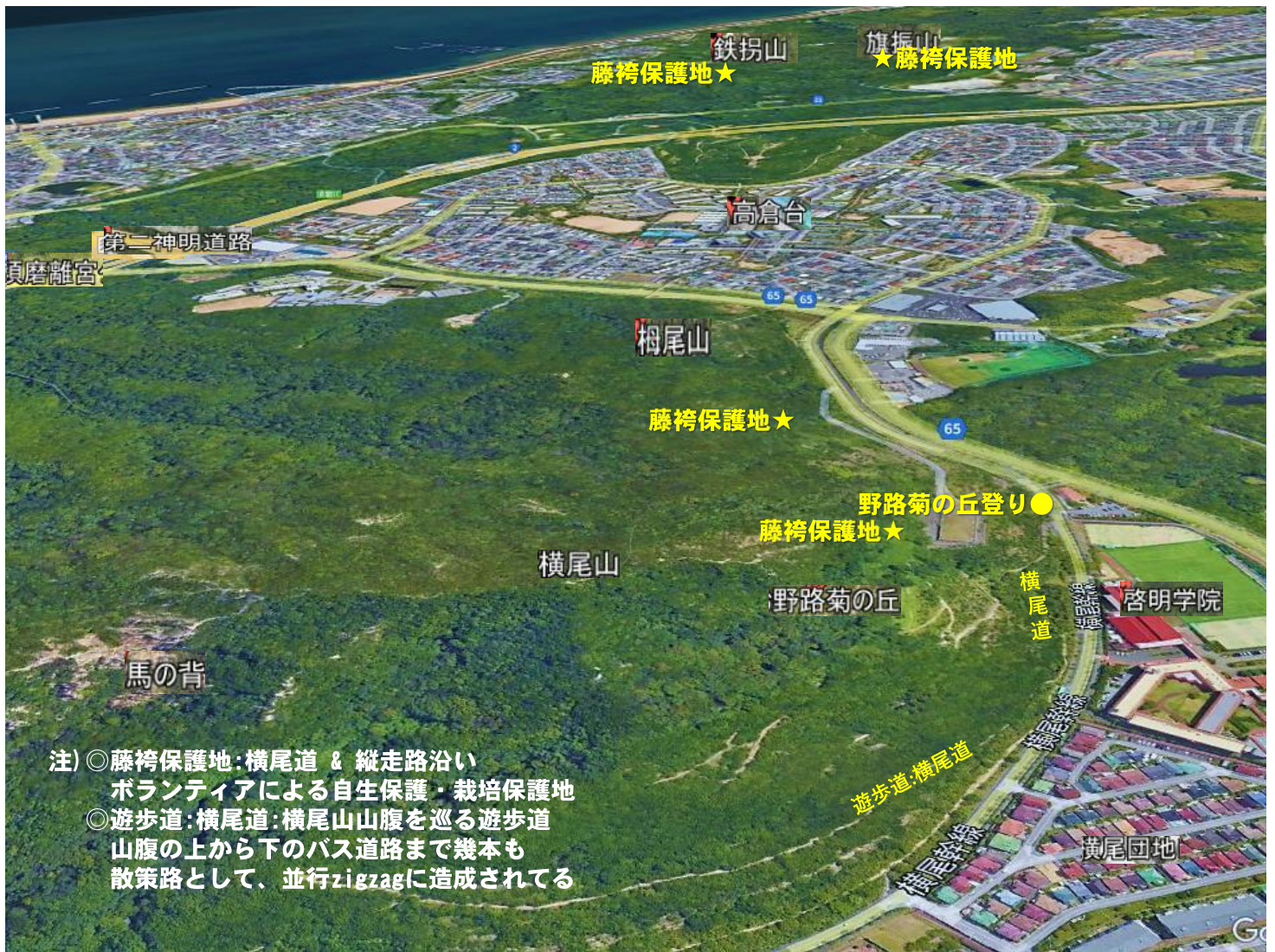
横尾道から南の旗振り山遠望



横尾道 野路菊の丘への登り口周辺
この周辺にも藤袴があったのですが、今年は消えてありませんでした



「今日はアサギマダラの飛来があるか？」と藤袴の保護地を巡る横尾道



注) ◎藤袴保護地:横尾道 & 縦走路沿い
 ボランティアによる自生保護・栽培保護地
 ◎遊歩道:横尾道:横尾山山腹を巡る遊歩道
 山腹の上から下のバス道路まで幾本も
 散策路として、並行zigzagに造成されてる



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 野路菊の丘南の藤袴保護地



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 南の出口近くの藤袴保護地



野路菊の丘へ登り口 横尾山山腹の横尾道(上)の散策路



野路菊の丘への登り口近く
丘の下にも藤袴保護地があったのですが、
今年は荒れて藤袴の花は咲きませんでした

横尾山山腹横尾道(上)の散策路 野路菊の丘への登り口近くで

「今日はアサギマダラの飛来があるか?」と横尾道から野路菊の丘へ登り
横尾山山腹の横尾道(上)の散策路を南へ藤袴の保護地を巡るwalk

秋晴れの澄んだ明石海峡・播磨灘 遠く浮かぶ小豆島・家島群島がくっきり
藤袴の蜜を吸うアサギマダラもさることながら、

「澄んだ播磨灘に浮かぶ小豆島・家島群島も秋ならではの
美しい遠望で毎Walkを楽しんでくれました。 2023.10月初



野路菊の丘へ登り横尾山山腹の横尾道(上)の散策路へ 2023.10.3!



2023.10.2. 横尾山山腹 横尾道(上)より眺める播磨灘 澄み渡る秋の空 明石大橋 播磨灘に浮かぶ島々 小豆島や家島群島がくっきりと

↓小豆島

↓家島群島

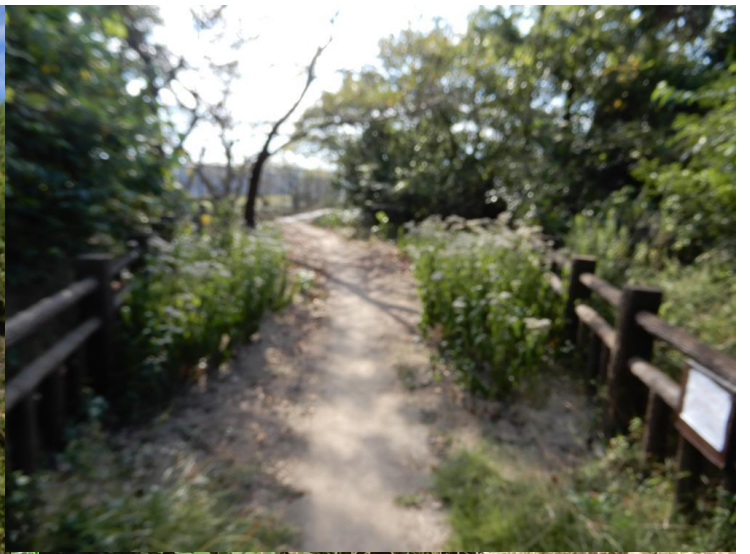
↓姫路/赤穂の瀬戸内沿岸



2023秋 くっきりと見える播磨灘に浮かぶ小豆島と家島群島 2023.10.2. 横尾山山腹 野路菊の丘より



野路菊の丘へ登り道より眺める明石大橋 & 播磨灘 2023.10.2.



野路菊の丘 横尾山山腹の横尾道(上)の散策路 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 脇の藤袴保護地<1> 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路
藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路脇の藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路脇の藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 散策路出口近く
藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 散策路出口近く
藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路
散策路出口近くの藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 脇の藤袴保護地で 2023.10.3.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路 散策路出口近く
藤袴保護地で 2023.10.2.



横尾山山腹横尾道(上)の散策路で藤袴の花に集る蝶や昆虫
横尾山山腹の藤袴保護地で 2023.10.2. & 10.3.





アサギマダラ飛来を発見
横尾山山腹横尾道(上)の散策路脇の藤袴保護地で 2023.10.3.



アサギマダラ飛来を発見
横尾山山腹横尾道(上)の散策路脇の藤袴保護地で 2023.10.3.



コアオハナムグリ(コガネムシ科)

横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



オオハナアブ

横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



ツマグロヒヨウモン
横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



ツマグロヒヨウモン
横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で モンキアゲハ蝶



コアオハナムグリ(コガネムシ科)

横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



イシガケチョウ (イシガキチョウ)

横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で



イシガケチョウ (イシガキチョウ)

横尾山山腹横尾道(上)散策路 藤袴保護地で

横尾山山腹横尾道(上) 散策路藤袴保護地で見かけた蝶&昆虫 2023秋



イシガケヤゴウ



アサギマダラ



ツマグロヒョウモン



コアハナムグリ(コガネムシ科)



オオいなアブ



モンキアゲハ

この横尾道の散策路には、たくさんの野草があり、花もいろいろ咲いていますが、やっぱり秋の七草「藤袴」の花に蝶や昆虫たちは一番吸い寄せられていました



アサギマダラ飛来を確認でき、今日うれしい帰り道
振り返ると南に見える旗振山 蝶はこの山を中継地に南へ渡ってゆく
渡りの蝶「アサギマダラ」の渡りの道
西六甲の西端 横尾山山腹横尾道 2023.10.3. 14:43



アサギマダラ飛来を確認でき、今日うれしい帰り道
振り返ると南に見える旗振山 蝶はこの山を中継地に南へ渡ってゆく
何度も飛来をチェックに行きましたが、今年はまだ見られず
今年数は少ないと何人にも聞きましたが、
旗振り山山頂の藤袴 昨年は乱舞する「アサギマダラ」に出会えたので
今年も見られるかも… 2023.10.3.



アサギマダラ飛来を確認でき、今日うれしい帰り道
野路菊の丘へ登り口へ下る
横尾山山腹の横尾道(上)の散策路 2023.10.3.

藤袴の花や蝶 並びに散策路の道の写真等は10.1.-10.3.のPhoto が入り混じっています。お許しください。

2023初秋 西神戸・東播磨の風物詩<<2>>

【風来坊2023】【スライド動画】【Photo Album】

記録：六甲連山の西端須磨沿岸に立ち並ぶ旗振り山・横尾山
渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023

西六甲の端 須磨横尾山山腹の散策路の藤袴保護地に

飛来した渡りの蝶「アサギマダラ」 2023.10.3. 14:44

今年は飛来が遅れたのか？ 渡りの蝶がすくないのか？

中々飛来を確認できずでしたが、須磨横尾山山腹の散策路 藤袴保護地で
藤袴の花の蜜を吸う渡りの蝶「アサギマダラ」を見つけました。

天候・場所・時間を替えて、約一週間 今日やっと確認出来ました。うれしい一日に。



「風来坊2022」昨年2022年の記録:

蝶の道 旗振り山から南西へ 淡路島・四国そして九州へ

「アサギマダラ」の映像が初めて撮れました それも旗振り山の頂上で!!

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0411ButerflyRoadweb.pdf>

「旅するチョウ」飛び立つ前に



フシバカマの上を飛ぶアサギマダラ 神戸市灘区摩耶山町

神戸・摩耶山

「旅するチョウ」として知られるアサギマダラが神戸市灘区の摩耶山天上寺に飛来している。越冬に向けた長旅に備えるように、フシバカマの蜜を吸う

大きさは約10センチ。羽の白い部分が光の加減によってあざき色(淡い青緑色)に見えることか

花の上を飛び回る。近いうちに南方へ飛び立つ見通しという。同寺副住主の伊藤浄真さん(70)は「はるか遠くまで飛んでいく姿を想像し、命の尊さや力強さを感じてほしい」と話す。

「旅するチョウ」として知られるアサギマダラが神戸市灘区の摩耶山天上寺に飛来している。越冬に向けた長旅に備えるように、フシバカマの蜜を吸うのに夢中になっている。

同等ではフシバカマの花が増えた約10年前から多数が飛来。今年9月末に急に増え始めた

61・2684 (等原次郎)

須磨横尾山山腹で飛来した「アサギマダラ」を確認した翌日10月4日の神戸新聞朝刊にも六甲摩耶山に飛来乱舞する「アサギマダラ」の記事が出ました。六甲には数多く飛来している。今年六甲山系の飛来が少ないと聞きましたが、台風が少なく・酷暑が影響していると。でも例年とは飛来が遅く、やっぱり地球温暖化の気象変化の影響が色濃く出ているのかも……

蝶の道 六甲連山西端の旗振り山から南西へ 淡路島・四国そして九州へ
アサギマダラの渡りの道 遠く種子島 台湾へ



渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来の確認 walk 横尾山山腹 横尾道の藤袴の花保護地で



記録：渡りの蝶「アサギマダラ渡りの道」2023 2023.10.3.



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichi.mp4>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichiweb.pdf>



<https://infokkna2.com/ironroad2/2023htm/walk20/R0510Yokoomichiphoto.pdf>

【参考】「風来坊 2022」昨年 2022 年の記録:

[蝶の道 旗振り山から南西へ 淡路島・四国そして九州へ 旗振り山の頂上で!!](#)

[藤袴の花に群がり乱舞する蝶「アサギマダラ」の映像が 初めて撮れました](#)

<https://infokkna2.com/ironroad2/2022htm/walk19/R0411ButterflyRoadweb.pdf>